# 誌上行学講習会

高佐日煌上人

人間死にたくないというのが正直な気持であります。「死にたくない、いつまでも生きていたい」というのが、地球上二十数億の人間すべての願いならば、此れは人類の願求する合目的であると言えるのであります。そしてこれは必ず成就される筈のものであり、「死なない生命」はきっと見つかるのであります。疑いを持たず一心に見つけてまいりましょう。

「二二　苦労はしたくない。安楽な生活がしたい故に生活の安定を求めんとする。」

これも又、人類世界共通の願いであります。我々は生きているうちは絶対に苦労は嫌だ。何時の場合でも安楽でありたい。安らかでありたい。悩み憂い、嘆き苦しみ、そういった心の不安を取りのぞきたい。心の不安というのは生活に重大な関係があります。一番親しい親子兄弟夫婦といった関係も、時によって喧嘩をすることがある。その原因を尋ねて行くと必ずどこか「金」の問題が顔を出して来る。「金」さえあればこんな喧嘩をせずに済んだであろうなということがまあります。すべて精神的なことで解決して行こうといっても出来ない場合がある。どうしても物質的な問題がからんでくる。親友の間であったのに、急に仲が悪くなったというのも、洗って行くと案外と経済問題になっている。「あいつは義理を知らんやつだ。あいつの困った時に俺はこういうことをしてやった。それなのに今度俺が頼みに行ったら実に冷ややかな態度を取りやがった。もうあいつとは金輪際つき合わない」ということになるのも要するにせんじ詰めて行くと「金」＝経済的＝のことであります。

「君んとこは今調子が良く、景気がいいんだから何とか一つたのむよ」「いや君、それは表面上は調子がいいように見えるが実際はとても苦しいのだ」「それはそうかもしれんが、そこを友情で何とかしてもらいたいんだ」「いやせっかくだがだめだ」。皆さんもこういう会話をよく聞かれると思います。血をすり合ったような友人もこと「金」になると別になってしまうことがあります。

そういう風に見て行くと人生には「金」がもとになっている事件が極めて多いということが解ります。何事も精神的精神的と言って心だけでもの事を考えることはどうかと思われます。時には物質的なもの「金」が幸福を生む母胎になって来るのであります。しかしなかなか思うように「金」は入って来ない。「金」が入るようにするにはどうすれば良いか。我々は自分の力の限度に於てなお経済の安定を得られない。不安にさらされている場合などうすればよいか。人生で苦労をしたくない安楽な生活をしたい。生活の安定を計るにはどうすればよいか。経済の安定はどうすれば得られるか。このことは「生命」よりも解釈は楽な筈であります。とにかく精神並物質に於て、欠くるところなき安定を得るということを実現させねば、安楽な生活も出来ないのであります。

以下次号に続く